

授業科目名 <英訳>	医学コミュニケーション演習 Applied Medical Communication				担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 准教授 岩隈 美穂					
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 後期	曜時限	水4	授業 形態	演習	使用 言語	日本語及び英語

[授業の概要・目的]

コースの概要

質的研究方法（会話研究、SCAT、エスノグラフィーなど）をいくつか取り上げます。質的研究にも多くの手法があり、自分が知りたいリサーチクエストに合わせて、適切な方法を選ぶ必要があります。実際に研究が始まる前にいくつかの道具（ツール）を試しておいたほうがいいので、自分のリサーチクエストを意識し方法論を模索し始める時期に受講することをお勧めします。また自学自習が比較的難しい質的研究は、一緒に受講している「伴走者（＝クラスメート）」がいると、課題・疑問を共有しながら学びやすいです。そのため授業形式としてはグループワークなどを通して「分析を実際に経験」することを重視しています。また前期で取り上げたテーマを深く掘り下げたり、「障害学」についても触れたりしています。

[到達目標]

学習到達目標（このコース終了時まで習得が期待できる）
 いくつかの質的研究方法を理解する
 自分のリサーチクエストにあった研究方法を選択できる
 障害学について理解できる

[授業計画と内容]

- 1 10/4 イントロダクション
- 2 10/11 会話研究 1 （川島理恵氏 関西外国語大学短期大学部）
- 3 10/18 会話研究 2 （川島理恵氏 関西外国語大学短期大学部）
- 4 10/25 Steps for coding and theorization (SCAT)演習 1
- 5 11/8 SCAT演習2
- 6 11/15 SCAT演習3
- 7 11/22 SCAT演習4
- 8 11/29 障害学1
- 9 12/6 障害学2
- 10 12/13 エスノグラフィー演習1
- 11 12/20 エスノグラフィー演習2
- 12 1/10 エスノグラフィー演習3
- 13 1/1 学生によるプレゼンテーション 1
- 14 1/2 学生によるプレゼンテーション 2
- 15 1/31 授業まとめ

医学コミュニケーション演習(2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点及び達成度】

1. 平常点（授業参加、授業態度を含む）30%
2. レポート 50%
 タイトル（20%）+ 最終レポート（30%）
3. レポート発表 20%

【教科書】

プリントを配布する

【参考書等】

（参考書）

【授業外学習（予習・復習）等】

レポートは研究計画書の作成です

（その他（オフィスアワー等））

医学「コミュニケーション」のクラスなので、課題テーマを決める際、「関係性、心理、つながり、コミュニティ、コミュニケーション、社会」などのキーワードが入ることが望ましい。

医療・医学への社会科学的アプローチに興味のある学生向け。

障害があり、授業あるいは課題への取り組みに配慮（Accommodation）が必要な場合、早めに相談に来ること。

講師の都合で、日程が変更になることがある。

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 5名まで可

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。